

記載例：14

すみ肉	連続 (1)	記号	直角二等辺三角形を書く。
溶接部	実形		
矢の側又は手前側			
矢の反対側又は向こう側			
両側			
脚長6 mmの場合			
不等脚の場合、小さい脚の寸法を先に、大きい脚を後に書き、()でくくる。この場合不等脚の方向が分かるように示す。			
溶接長さ500 mmの場合			

記載例：15

すみ肉	連続 (2)	記号	直角二等辺三角形を書く。
溶接部	実形		
両側脚長6 mmの場合			
両側脚長の異なる場合			
片側連続溶接 片側断続溶接 断続溶接 溶接長さ50 mm 溶接数3 ピッチ250 mm の場合			

側面図では表示しない。